

●建物全体を様々なNPOの活動拠点施設として活用し、運営までも入居NPOが行っている珍しい事例

概要

- 用途： NPOの事務所及び登録NPOの活動拠点「NPO交流サロン」（情報交換、打ち合わせスペース）
- 廃校理由： 都市化による人口減少
- 廃校年： 平成10年
- 旧学校名： 三河台中学校

建物

- 構造： 鉄筋コンクリート造4階建て
- 建築面積： 764㎡
- 延床面積： 2,839㎡



財源

- 整備： なし
- 運営維持管理： 各NPOからの施設利用料

運営主体

- 名称： 事務所：各NPO団体 NPO交流サロン：港区
- 形態： NPO法人、地方公共団体

運営状況

- 主な利用者： 入居NPO各団体及び登録NPO団体
- 利用者数： 30人／1日

調査担当者のコメント

- 区が教室をNPOの活動拠点として貸与しており、現在27団体が入居し満室状態である。
- 施設運営の一部は、入居したNPOが行っており、NPO間で活発な交流や情報交換が行われている。

管理者から一言

- 廃校となった学校施設の暫定的な活用であり、今後跡地の本格利用について検討する必要がある。また、区とNPOとの協働を検討する中で、今後、当施設をどうするかという方針を検討する必要がある。

場所・連絡先

- 住所： 東京都港区六本木4-7-14
- アクセス： 地下鉄日比谷線・大江戸線、六本木駅より徒歩3分
- Tel/Fax： 代表番号なし



○正門からみた
建物の外観



○区が管理するNPOの交流
サロン



○教室をオフィス空間として
活用



○既存の棚を収納としてそ
のまま活用している団体



○床の貼り替えなど、リフォー
ムして活用している団体